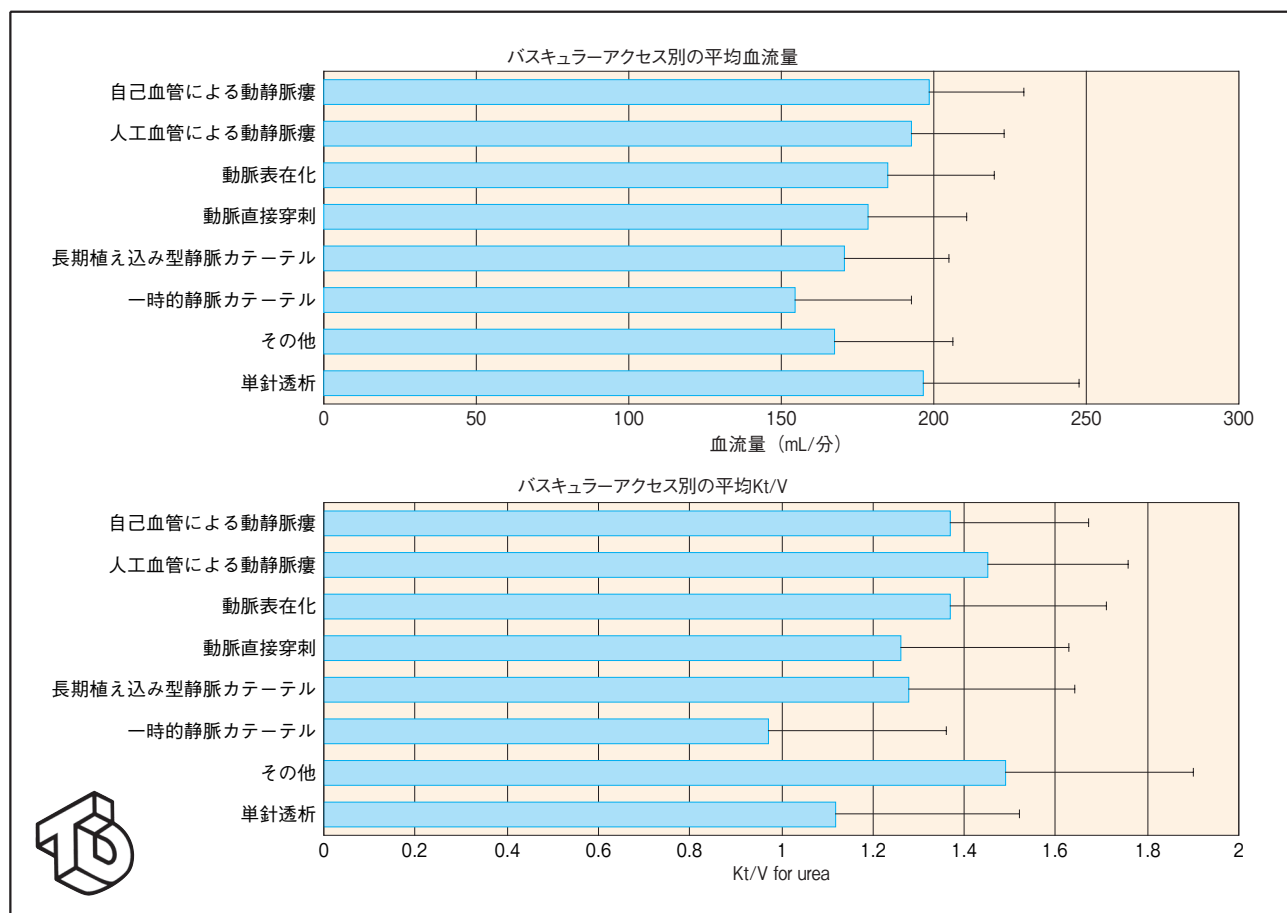


## 6) バスキュラーアクセスの現状

### (2) バスキュラーアクセスの種類と血流量、Kt/V (図表49)



血流量	合計	記載なし	総計	平均	標準偏差
自己血管による動静脈瘻	152,574	1,876	154,450	198.51	31.03
人工血管による動静脈瘻	12,145	89	12,234	192.66	30.26
動脈表在化	3,111	35	3,146	184.61	34.96
動脈直接穿刺	226	2	228	178.34	32.26
長期植え込み型静脈カテーテル	891	8	899	170.42	34.73
一時的静脈カテーテル	758	19	777	154.54	37.89
その他	176	10	186	167.53	38.81
単針透析	322	2	324	196.66	50.99
合計	170,203	2,041	172,244	197.44	31.47
不明	7		7	171.43	38.05
記載なし	18,314	17,531	35,845	199.77	34.52
総計	188,524	19,572	208,096	197.66	31.79

Kt/V	合計	記載なし	総計	平均	標準偏差
自己血管による動静脈瘻	145,160	9,290	154,450	1.37	0.30
人工血管による動静脈瘻	11,475	759	12,234	1.45	0.31
動脈表在化	2,917	229	3,146	1.37	0.34
動脈直接穿刺	203	25	228	1.26	0.37
長期植え込み型静脈カテーテル	806	93	899	1.28	0.36
一時的静脈カテーテル	495	282	777	0.97	0.39
その他	157	29	186	1.49	0.41
単針透析	297	27	324	1.12	0.40
合計	161,510	10,734	172,244	1.38	0.30
不明	4	3	7	1.35	0.34
記載なし	14,515	21,330	35,845	1.38	0.32
総計	176,029	32,067	208,096	1.38	0.31

患者調査による集計

#### 解説

血流量は平均197.66mL/分であり、自己血管による動静脈瘻が198.51mL/分でもっとも多かった。Kt/Vは平均1.38であり、人工血管、自己血管、動脈表在化の順に高値であった。一時的静脈カテーテルは血流量が少なく、Kt/Vも最も低値であった。カテーテルの特性に加え、導入期に多く用いられていることの影響も示唆された。単針透析は血流量は多いが、理論的にも予測されるようにKt/Vは低値であった。